

第六中学校生徒会役員の田中さんは「海水浴中の事故」を防ぐため、夏休み前に、給食の時間の校内放送（音声のみ）を通じて、全校の生徒に呼びかけ、その後、掲示用のポスターを作成しようと考えました。次は、田中さんがインターネットで調べた際に書いた【調べたことメモ】と、メモを基に書いた【放送原稿】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【調べたことメモ】

七月□□日にいろいろなホームページで調べたこと

- 海水浴中の事故原因の一つに「離岸流^{りがんりゅう}」がある。
- 離岸流とは、海岸に打ち寄せた海水が沖へ戻る強い流れのこと。
- 離岸流の幅は、十から三十メートル。流れの速さは、秒速約二メートルで、水泳選手でも流れに逆らって泳ぐのは難しい。
- もし、離岸流に流されてしまったら、まっすぐ岸に向かって泳いではいけない。体力を消耗し、危険。
- もし、離岸流に流されてしまったら、まずは落ち着く。次に岸と平行に泳ぎ、離岸流から抜け出したら岸に向かう。泳ぎに自信が無い人は、浮くことに専念して助けを求める。

【放送原稿】

生徒会から、皆さんにお願いします。
毎年、夏の時期になると、テレビなどで、海の事故についてのニュースをよく目にします。
もちろん、海や川に行くときは、第六中学校の校則で、保護者と一緒に行くことになっていますが、①、必ず安全であるとは言いきれません。海や川で遊ぶときには、そこが自然の中だということを忘れてはいけません。
皆さんは「リガンリュウ」という言葉を聞いたことがありますか。
「リガンリュウ」を漢字で書くと「岸から離れる流れ」となり、文字の通り、海岸から沖に向かう流れのことです。
波は海岸へ打ち寄せますが、その海水は沖に戻ろうとします。沖へと戻る海水の通路となる強い流れが離岸流です。離岸流の速さは秒速約二メートルにもなり、水泳選手②逆らって泳ぐことはできません。
このことを知らずに、例えば、浮き輪などを使って海で遊んでいると、離岸流が原因で、あっという間に沖に流されてしまうことがあります。

(次ページへ)

万が一、離岸流に流されてしまった時は、絶対に流れに逆らって泳いではいけません。かえって体力を消耗してしまいます。ホームページによると、離岸流に流されてしまったときは、

③

自然の海や川には、人間の力では、到底かなわない強い力があることを忘れてはいけません。

間もなく、夏休みが始まります。

楽しく、そして何より安全に過ごしてください。

以上、生徒会からのお願いでした。

- (1) ①に入れる言葉として、最も適切なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 海や川に行くからと言って
- イ たとえ海や川に行かなくても
- ウ 保護者と一緒に行くからと言って
- エ たとえ保護者と一緒に行かなくても

答え

- (2) ②に入れる言葉として、不適切なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア でも
- イ であれば
- ウ さえも
- エ ですから

答え

(1) 《解答》

ウ

(2) 《解答》

イ

(3) 《解答》

まず落ち着く、次に岸と平行に泳ぐ、そして、離岸流から抜け出したら岸に向かって泳ぐことが大切だそうです。また、泳ぎに自信がない人は、浮くことに専念して周りに助けを求めることも大切とのことです。

《評価のポイント》

- 【調べたことメモ】を基にして、伝聞の表現（聞いたことや調べたことを伝える述べ方）で書いている。
- × 無解答、または、不適切な内容であるか、九十字以上、百二十字以内で書いていない。

(4) 《解答》

甘く見るな、自然の力と離岸流。
(気を付けよう、離岸流。)

《評価のポイント》

- 全ての条件を満たして書いている。
- × 無解答、または、「離岸流」が入っていない、十字以上、二十字以内で書いていない、体言止めが用いられていない。